宇治市政
宇治市機関
発行所　宇治市役所
京都府宇治市宇治妙楽166の1
電話代表宇治440番

赤字解消で借入金減る
その支拂利子百五十万圓減

こゝにいふ借入金とは、市債等の長期借以外日々又は月々の金ぐりに一時借りする金で、借入先は大蔵省、郵政省、市中銀行、地方農協等である。最近三年間の借入状況は左の通りである。

金額＼年度	二九	三〇	三一	三二（予定）
月々の年累計（百万円）	六八八	九二七	八四五	七二〇
一ケ月平均	五七	七七	七〇	六〇

即ち右の表で二十九年度に比べ三十年度が増え、三十一年度が又減つている。その事情は二十九年度は赤字の最高年で、新市以来の市政実情から極度の金ぐりに窮迫しいくらでも借りたいが、貸し先からしめ出しを喰つていた。

三十年度は財政の建て直しで対外信用が増し、大方入用だけ借れる状態となつて来たのを示し、三十一年度は再転して再建の進むにつれて他の収入面も増し、借れるが借る必要が減つたことを示すものである。

三十二年度は勿論予想だが更に右表の六千万円以内に止める予定で、その為に支払利子が年間百五十万円も減ることが予想せられ、それ丈事業面に廻し得るが市民の負担が減り得ることとなる訳である。

優秀組合と組合員表彰
納税組合総会

宇治市では五月二日市内宇治神社々務所に本年度の納税組合総会を開催し、各組合長約七十名参集池本市長の最近の納税状況と、一般財政の好転について謝意をかねての報告あり、次で新年度の徴税と納税組合の在り方について懇談した。尚当日優秀組合および組合員として

団体　五ケ庄折坂納税組合

個人　六地蔵柿木町納組長松枝格禅氏、木幡宮前納組長乾寅次郎氏、伊勢田旭納組員山本良雄氏、橋本町納組員松阪田鶴氏

をそれぞれ表彰した。

三十二年度の
奨学生募集

宇治市では三十二年度の奨学生を次の要項で募集する。（月額大学千五百円高校八百円貸与）

一、大学四人、高校十二人

一、五月十日より三十一日まで申込

一、本人と保護者が市内に引続き五ケ年以上在住すること

学力優良、身体強健なこと、性行善良志操堅固学資の支出が困難と認められること、現に国、公、私立の大学、高校に在学するもの他より奨学金の貸与をうけていないもの。詳しくは厚生課へ問合せのこと

若葉かおる中の島に
メーデーの盛典

南山城統一メーデーは、地元宇治日レ、新日国、関電、市職等各団体から千五百人の組合員が、宇治川中の島に参加蜷川知事、（新庄義信氏代読）宇治市長、岡本代議士、玉置府議、太田市議、山中市議、上林一雄氏らの祝辞をうけ、大会議案を可決后、市内を行進、働くものの喜びの歌声を高唱した。

天ケ瀬ダム
現場は最適の地　地元の協力を
現場視察の南条建設相語る

静山荘で語る　南条建設大臣

南条建設大臣は、天ケ瀬ダム建設現場視察のため去月十八日来宇池本宇治市長ら地元関係者の出迎えをうけ、ダム建設地点を視察の後、静山荘に少憩したが市長と旧知の間柄で打融け、同ダム建設について次のように語つた。

「このダムの建設は地元の要望でもあり、防災、水利、開発と云う理想的多目的ダムで、出来上れば観光的にも景観が一変する水没の補償問題もあるので、一層地元の協力をお願いしたい。」

奥村助役辞任

かねて病臥欠勤中であつた奥村助役は四月二十五日市長のもとへ辞表を提出したので、市長は直ぐ同氏を訪い、実情已むないことを認め、四月三十日付でその辞任を発令した。

奥村助役は旧宇治町助役より、新市制実施の際、市長職務執行を勤め、又池本市長の新任と共に助役に就任、文教、渉外に尽力せられたが、昨年秋以来病気のため休養加療中であつた。

「印紙税法」一部かわる

昭和三十二年四月一日から印紙税法の一部が改正され、これまで約束手形、為替手形の税率が十円であつたものが今回の改正で左記のようになつた。

約束手形為替手形記載金高	
十万円以下ノモノ	二十円
三十万円　〃	三十円
五十万円　〃	五十円
百万円　〃	百円
五百万円　〃	二百円
千万円　〃	五百円
千万円ヲ超ユルモノ	千円

◇尚、従来は記載金高三千円未満の約束手形及び為替手形については免税であつたものが今回の改正で一万円迄が免税となつた。

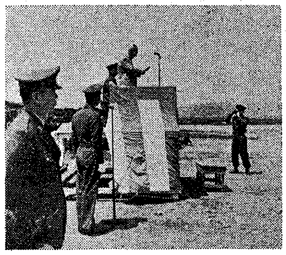
市営結婚

五月五日　茨木四郎さん　日比野ハツ子さん
七日　中西良雄さん　堀口雪枝さん
吉川条次郎さん　森千鶴子さん
八日　辻定蔵さん　加美絞子さん
十三日　照喜名邦保さん　照喜名春子さん

大久保自衛隊
晴れの発足

宇治市大久保町の自衛隊大久保駐とん部隊は、去る二月初めから特科連隊として整備を急いでいたが、火砲四百、自動車三百をもつ隊員千二百名の部隊がととのつたので、五月三日祝日を期して、部隊創立の祝賀式を行つた。式は午前十時半、杉田第三管区総監から広瀬連隊長に連隊旗がわたされ、府知事、池本市長らの祝辞ののち、観閲行進にうつり、隊旗を先頭に堂々の行進が行われ、新らしい自衛隊の姿を展開した。

当日は一般に隊内を開放し、市民の参観も多く、武器の展観や演芸会に、親しまれる部隊の賑わいに湧き発足を意義づけた。



自衛隊祝賀式で　宇治市長の祝辞

昭和31年度　**徴収実績**　4月末日現在

地区	税目	調定額	収入額	未収入額	収入歩合	前年度実積
東宇治	固定資産税	7,772,540	6,303,197	1,469,343	81.1	75.2
	府市民税	4,053,530	3,041,210	1,012,320	75.0	70.2
	自転車荷車税	434,240	359,330	74,910	82.7	73.2
	計	12,260,310	9,703,737	2,556,573	79.1	73.7
宇治	固定資産税	9,198,520	7,346,201	1,852,319	79.9	71.4
	府市民税	5,196,970	3,905,337	1,291,633	75.2	81.2
	自転車荷車税	589,910	498,530	91,380	81.5	75.9
	計	14,985,400	11,750,068	3,235,332	78.4	74.9
槇島	固定資産税	2,518,240	2,252,230	266,010	89.4	86.4
	府市民税	861,120	733,710	127,410	85.2	88.4
	自轉車荷車税	135,830	113,050	22,780	83.2	79.3
	計	3,515,190	3,098,990	416,200	88.2	86.4
小倉	固定資産税	4,151,530	3,596,523	555,007	86.6	85.0
	府市民税	2,740,470	2,236,360	504,110	81.6	82.1
	自転車荷車税	241,440	220,480	20,960	91.3	82.3
	計	7,133,440	6,053,363	1,080,077	84.9	84.1
大久保	固定資産税	2,817,810	2,266,370	551,440	80.4	75.6
	府市民税	1,409,790	996,000	413,790	70.7	70.2
	自転車荷車税	150,190	125,020	25,170	83.2	75.5
	計	4,377,790	3,387,390	990,400	77.4	74.0
市外	固定資産税	2,480,260	1,860,285	619,975	75.0	76.9
法人	固定資産税	53,725,589	52,854,439	871,150	98.4	96.0
	府市民税	14,546,598	14,262,154	284,444	98.0	95.0
	計	68,272,187	67,116,593	1,155,594	98.3	95.9
特別徴収分	府市民税	20,609,830	20,413,337	196,493	99.1	94.8
	木材引取税	153,500	153,500	0	100	98.0
	たばこ消費税	9,741,940	9,741,940	0	100	100
	電気ガス税	19,166,079	19,077,888	88,191	99.5	99.9
	鉱産税	9,400	4,400	5,000	46.8	0
小計	固定資産税	82,664,489	76,479,245	6,185,244	92.5	87.8
	府市民税	49,418,308	45,588,108	3,830,200	92.2	89.4
	自転車荷車税	1,551,610	1,316,410	235,200	84.8	76.5
	木材引取税	153,500	153,500	0	100	98.0
	たばこ消費税	9,741,940	9,741,940	0	100	100
	電気ガス税	19,166,079	19,077,888	88,191	99.5	99.9
	鉱産税	9,400	4,400	5,000	46.8	0
合計		162.705 326	152.361.491	10,343,835	92.3	90.5
滞納繰越分		25,110,008	7,660,624	17,449,384	30.5	36.1
総計		187.815 334	160.022.115	27,793,219	85.2	80.5

市政と広報
新充実計画

宇治市は市民の皆様の市であり、市役所は市民の皆様によつて選出された議会が定めたいろいろの施策の運営を行う機関であることは、既に皆様も御存じの通りであります。

市役所は、市民の皆様に市政の方針、諸行事及び財政内容等について、一般に広く行き亘つてお知らせして、市民の皆様と直結して市政の円滑、完全なる運営を行い益々市民の福利増進を図つて、住みよい市を作ることが目的なのであります。

この役目を果すためには、広報によつて、市役所と市民の皆様との間に、お互いに信頼と敬愛の念を醸成することが最も必要なのであります。

広報活動は観光行政と共にその効果は、目に見えないが大きな結果をもたらすところの重要な事務であるのであります。当市ではこの重要性を痛感して、従来から機関紙「宇治市政」及び京都放送による「宇治市政だより」の放送などＰＲ（広報）を行つて参りましたが、尚一層の徹底を期するため、本年度から新しく広報宣伝車を市中に運行して、直接市民の皆様の「耳」に訴え、市政の内容をお伝えしたいと計画しておるのであります。今後は些少に不拘、市の業務について、一般に広く知つて頂きたい方針の下に活動したいと思つている次第であります。

市民の皆様におかれましては、市役所に対する、希望などおありでございましたら、どし／＼口頭でも文書でも結構ですから、調査広報課宛お申出下さることをお願い致します。

調査広報課の設置に当りましてここに市民の皆様の御協力御鞭撻をお願いする次第であります。

（調査広報課長　松阪）

社員増強で
日赤募金に協力

日赤京都支部では、毎年の白い羽根募金を本年は社員増強運動に切かえ、協力を要請してきたので宇治市厚生課では去る四日各地区婦人会関係者を招きこれが実施について協力を相談した。市民各位の加入をお願いする次第。

宇治市の目標額は、三十七万七千円で

宇治	一五四、三〇〇
槇島	一七、七〇〇
小倉	四三、五〇〇
大久保	四五、六〇〇
東宇治	一一五、九〇〇

宇治市民生（児童）委員

昭和32年5月1日現在

（氏名）	（担当地区）
藤井 貞子	五十鈴町、丸山町、乙方町
原 マス	山本町、諏訪町
服部 利一	東内町、桐原町
藪内 ヤエ	鷺の橋町
河村 半七	桜町、桜井池町
松阪 田鶴	橋本町
藤井 初枝	北新町、小桜町
木藤 章一	里尻町、下新町
倉田 勘次郎	若森町、戸ノ内町
竹田 ミチエ	伍町
西村 雅子	六番町
谷口 三郎	中新町
寺川 修二	御旅町、五番町、若宮町
山本 タツエ	社町、矢落町、折居道町
和久 セン	大工町、樒敷町
森本 庄太郎	常福町
中西 かね	大亀町、薬師町
河村 六太郎	地蔵堂町、池殿町
北尾 孝	今内町、谷ノ辻町、東町
松阪 重一	東町、坂井戸町
池下 カノ	西町、玉池町
森 スエノ	神明
宮城 文子	十番
大倉 美子	日レ野神社宅
服部 清寿	白川
岩中 尊	宮東第三、四町
小川 イサノ	宮東第一、二町
西山 旨雄	上ノ上
奥山 潤治	上ノ中
長沢 キク	上ノ下
前川 留次郎	下村
佐原 元次郎	三軒家
橋本 次三郎	西目川
多田 三之助	東目川
江口 四郎一	三軒家
井上 隆芳	西畑、天王
森 権兵衛	春日森、寺内
小島 コヨ	旧街道の西側、郵便局より南部
仙波 朝光	桜、楓
工東 祐信	松の北部
辻 栄次郎	毛語
北川 鉦次郎	中山、南山、毛語、一部
北野 延一	広野町、小根尾（三
奥村 健太郎	軒家）広野町、一里山
田島 ノブ	広野町一丁目、広野町二丁目
西本 コト	広野町三丁目、四丁目、末広町
西田 米次郎	広野町五丁目、広野町尖山、大亀茶屋
森 仙蔵	大久保町西部
今村 太一	大久保町東部
松本 カズ	六地蔵北部
林 千賀	六地蔵南部
中村 ひさの	木幡北部
高志 普順	木幡中部
池田 勝治	木幡南部
田中 三雄	東岡屋
大井 貴子	西岡屋
高原 義郎	広芝北部
吉岡 徳栄	広芝南部
吉田 源次郎	大林、梅林
西川 文三	大和田北部
坂田 一枝	平野町、大和田南部
茶木 一雄	折坂
小島 利市	新田、新茶屋
羽倉 与良	岡本、上村、福角
長谷川 繁一	菟道北部
藤井 すみ	菟道中部
村上 一之	菟道南部
村井 しず子	志津川北部
中沢 三郎	志津川南部
金子 重三郎	東笠取
中谷 勝	西笠取
渋谷 松次郎	上炭山、炭山
中谷 松太郎	池ノ尾、二ノ尾
松岡 真太郎	宇治市全域児童専門

宇治市社会福祉協議会役員

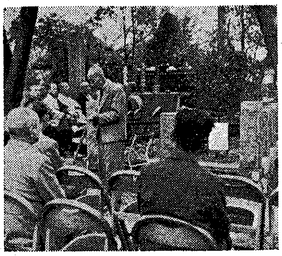
役職名	氏名
会長	入江 宗太郎
副会長	金井 金一郎
〃	岡 千代
理事	長谷川 繁一
〃	江口 四郎一
〃	宮城 敏夫
〃	山口 辰之助
〃	山崎 政栄
〃	辻 栄次郎
〃	梶浦 亮宏
〃	上田 正夫

宇治茶の植栽の恩人

明恵の碑を移転

宇治茶植栽の恩人といわれる栂尾明恵上人の遺跡は、「駒の蹄影」の碑として宇治人の謝恩の碑が建てられ、追慕のしるしとなつているが、その碑の周囲は、人家が密集して発見に困難な処から、今度地元茶業団体、市と相はかり、黄檗山の門前に移転　さる五月一日これが工事完成の式典を行つた。

川上美貞氏より工事経過の報告があつて、市長議長らの祝辞、関係者の焼香をもつて、式をとぢた


明恵上人の碑　移転式

不動産の登記に
住民登録の抄本

四月一日から相続、売買、贈与等で不動産の登記をする場合は、取得者（新名義者）の住民登録の抄本がいることになつた。（抄本は市役所戸籍課で作成）

土地登録税課税価格改訂

登記所では五月十日から土地に関する登記のときに課せられる登録税の課税価格が次のように改訂された（尚税率は従前の通りです）

▲山　林

（立木別）賃貸価格の八、〇〇〇倍の額

▲宅　地

土地課税台帳に登録された価格の五割増の額

▲田　畑

賃貸価格の三、〇〇〇倍の額

但し巨椋池干拓田に限り一反につき六万円とする

造林の機械化など
森林組合事業きめる

宇治市森林組合では五月四日市公会堂に総代会を開催、岩井組合長議長席につき、昨年度決算、新年度予算、事業計画等を決定、京大農学部柴田林学博士の講話を聞いた。

新年度事業のうち動力下刈機を組合に購入して造林の機械化を試みること、ダム決定にともなう水没山林や搬出施設の交渉など活動が注目される。

当日表彰された優良林入賞者は中尾藤三、弓下甚蔵、藤井源蔵、岸本清三、平尾甚助、尾谷ふみ、西出孝太郎、山口光雄　村上照三、小林岩三、久野初太郎、武内定夫、南久三郎、藤田和男。西出稔、平尾伍一郎、谷口八太郎、大石光三郎の各氏

米屋の登録変更

毎年定期の登録変更を、つぎの通り実施致しますから、変更届出期間中に、（東宇治地区の内、志津川、池尾、菟道、福角の一部を含む）は市役所配給係へ、その他の地域は東宇治配給所分所、笠取の簡易郵便局へ米穀通帳及び印鑑を持つて届け出て下さい。用紙は届出場所にあります。この場合その世帯員以外による登録変更手続は認められません。

米屋登録変更届出期間は

五月十三日から十八日まで

笠取と木幡で
季節の保育所

市の福祉事務所では、農繁期の保育所を、五月下旬から笠取と木幡其他で開設し、婦人会の協力のもとに足手まといの子供たちをあづかつて、安心して仕事が出来るようにしたいと計画中である。

製茶の期間には
特に火の用心を

いよ〱製茶の時期となり、宇治市内は活況を呈すことになつた製茶は何しろ火を相手の仕事であるから、特に火の用心、火の始末を充分にして、大事をおこさぬように。宇治市では昨年期間中に小火二件を出している。

市の消防署では十日から月末まで製茶業者へ立入検査を行つて警火と予防の徹底を期する。

社教直言

△爛漫と咲き乱れた花は散り、野も山も緑一色。造化の神は四時自然を美しく織りなしてくれる。日本は世界でも天然の美しさに恵まれた国だときくが、そこに形成する人間社会は遂年毒悪化するように思えてならない。弱い考え方か知らんが、何とかならぬものかと思うことが度々ある。

△大分減つたようだが、花見客のけんかは後をたゝない。ささいないきさつが酒の勢も手伝つて、時に流血沙汰、楽しかるべき花見がとんだ結果を生む、適量の酒はよいとしても量を越すことは花見に限らず禁物としたい。

△それにしても日本は「酔ッ払い天国」とやらで酒飲みには何かにつけ寛大な国らしい。外国人には理解出来んらしいが「酒の上のことだから」という便利な言葉があつて少々の無茶や道に外れた言動も大目に見られることは感心出来ない。そればかりでなくむづかしくこみ入つた問題も酒席では簡単に解決される。「政治は夜行なわれる」などというが、これが宴会政治のことを指しているのであつたら、いよ〱寒心に堪えない

△誰々が入会しているからと、会の目的趣旨は一向知らずに入会ずる「つき合会員」友人先輩にすすめられた「いや〱会員」知らぬ間に会員になつていた「ずるずる会員」そんなわけで会費だけ納める「会費会員」ひどいのになると名簿にはのつているが会費さえ払わぬ「名簿会員」こんなことだから、会のことはすべて役員まかせで、全然協力しないが、批判だけはやる。これでは役員もせいがなく、道理で今年などは役員のなり手がなく困つた団体が相当あつたらしい。徒らに陣容の大きさを誇るよりは、会員意識の強いものに再編成することが賢明ではなかろうかそれとともに「自分の会」「お互の会」であることを再確認して、みんなが団体の発展拡充に協力せられんことを望むや切！

△二、三日ゆつくり寝てみたい。仕事に追われて疲れ切つた時は、こんなことを考えることが時たまあるが寝ている程のつらいことはない。停電によつて電燈の有難さが解るように、病気になつてはじめて健康の有難さが痛感される。健康で職務に精励することが人生最大の幸福。筆者病を得て病棟の人となり、各方面に多大の御迷惑をおかけすることを心より詫び市民各位の御健康を切に祈る。

いまにし生

宇治婦人会総会

宇治市宇治婦人会は二十七日菟道小学校で総会をひらき、蜷川知事のあいさつがあつて、佐野藤右衛門氏の「さくら四方山話」の講話を聞いた

季節料理の講習会

宇治市婦人会では、京都新聞後援による季節料理の講習会を、菟道小学校に開催、板倉副会長のあいさつあつて、京都料理学校小川旭校長の筍料理を熱心に受講した

活躍した市の給水に
大久保町謝意

今春の季節異変で、大久保町内一帯は異状な水不足になやんだがこれが対策として市役所では給水を行うこととなり連日消防タンク車等が活躍飲料水を配水した。四月末の慈雨で解消したので同町関係町内会長らは市役所を訪問謝意を述べた。

求人多数！
職安へ御紹介を

伏見職安宇治出張所では、目下求人申込が多数あるので、希望者は職安出張所へ問い合せるよう希望している

人

本社経理部長代理に
日レ三木一郎氏栄転

宇治市公平委員の三木一郎氏は五月一日附同社の人事移動で、大阪本社経理部長代理に栄転された

藤井治男市議急逝

市会議員藤井治男氏（36才）は四月二十三日急性心臓病のため自宅で急逝された。氏は若手議員として仲々の活躍家で、将来を期待されその急逝が惜しまれている。

[illegible]

▲あらとうと青葉若葉の日の光、宇治の佳節もいまこの時である。観光客も学生団体にかわつて、何にしても鳳凰堂ブームのつづくのは嬉しい。▲さきごろ鳳凰堂や宇治の茶工場を見学した米カリホルニヤ大学の美術学部長ハワード、フェントン氏からこの程市長宛謝状がとどき、市長も答えて冊子「千年の宇治」と手紙をおくつたが、この送料八百四十円也、しかし宇治を激賞して帰つた教授からアメリカの学生たちに好印象がひろめられれば、この料金は安い宣伝費だ▲はからずも平等院の藤を見る機会にめぐまれる。藤は日本の花、藤原の花だ。奈良と宇治になくてはならぬ花だ。平等院の藤に丹誠を注いだ老翁があつたその人を知る人もまだのこつていよう。二尺ばかりの花房が、けぶるがごとく、その思い出はきのうのようにあざやかである。

藤棚もあれてけさむしそのかみの花もりおきな逝きて幾年ぞ

◎反　響◎

お茶の芽のお大切な時、お公所皆さまお精励拝賀申上候、時々はお所広報課のラヂオ放送を拝聴、今度お茶碑が寺門前へお移転のよし、付ては先年お組合様のお労の建碑当時を追憶お記念錫半の錫茶瓶を取り出し喫飲しつつしのび申上候、お所の記録にありましょうが奔走者は栂尾の、覚行和上で三碑共記録せぬ事で書配されましたが、大碑の足影の歌は観修寺和田大円和上で、門標碑は高瑞座主先の泉福寺智等和上で、撰文並書は迂老、上記の概要追憶のまま復伸申上候、まあ二十餘年前のありし事と存じます　その当時のお組合の斡旋方もお残り少ないことと存上ます。石垣から全費が四千何百円というお報告も、尚耳朶に残りて居ります。

五月八十八夜朝　吉祥里八十老人　小木曽松濤生

毎週木曜日放送
ラジオ京都　午后五時五分
宇治市政だより